

明日の家族を考える会 会報



第10号

2010年3月

・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀絏一 ・事務局長 中村厚子
・発行責任者・編集人 羽賀絏一 ・毎月1回発行
・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町10-2-701 中村方 TEL. 080-6165-7011
FAX. 0797-23-2488 URL <http://wnw-ashiya.com>

3月度幹事会

○日時 2010. 3. 25 (木)
19:00~21:20
○場所 中村邸

- 出席者確認 (敬称略) 大脇、河村、中村、羽賀、榎本、三木、安井、以上7名
- 配布資料 会報第9号 (2010年2月)
- 報告事項

*事務局報告・中村事務局長

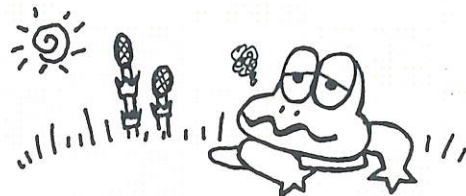
1) ウィザスあしやフェスタ2010関連

- ・記念講演会、各グループのポスター展示、ワークショップとも概ね盛会であった。
- ・当会のワークショップ「第9回公開学習会」の参加者は、35名 (講師羽賀会長含む) であった。当日参加も多かった。
- ・バザー用寄贈品は、市民からの寄贈も多く、開催時間が短かったので多くの品物が売れ残った。

2) 4月1日 (木) 協議会では、当会が司会当番の予定である。

3) 宮本会員からの相談事項あり。





*会計報告・河村担当

- ・年度末に当たり、会費未納者の調査報告
- ・兵庫県「地方子育て力アップ支援事業」の助成金を年度末に申請する。
助成対象は、以下の5つの事業である。
 - 1) 2009年10月24日「動く・こどもの館号がやってくる！」(第8回公開学習会)
 - 2) 2009年11月10日親子のびやかコンサート
 - 3) 2009年12月22日バンビのクリスマス
 - 4) 2010年2月4日カルガモクラブ「野菜とお米のお話」
 - 5) 2010年3月9・23日開催の親子体操
- ・社会福祉協議会の助成金28,000円を申請した。入金は6月以降になる。

*HP報告・大脇担当

特になし。

*カルガモクラブ、バンビグループ、まちの寺子屋の報告・河村担当

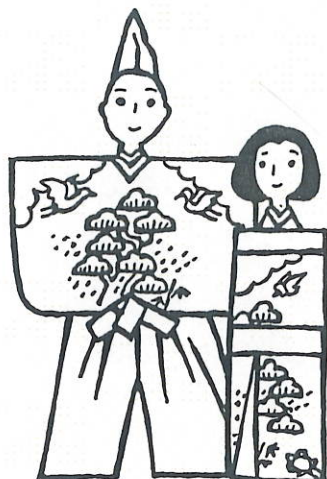
- ・カルガモクラブ 3月11・25日(木) 於西蔵集会所
- ・バンビグループ 3月9・23日(火) 於打出集会所
- ・まちの寺子屋 3月26日(金) 15:30~17:00 於前田集会所
テーマ: 読後の感想文の書き方

○審議事項

5周年記念事業について、継続審議をした。

①日程と会場

日程と会場が確定しないと次の交渉が出来ないので、至急、会場と日程の確定作業を進める。公的な会場(市民センター多目的ホールなど)の予約は2ヶ月前でないと確定しないので今回の対象としない。また、調理が出来る会場というのは限られるので、必ずしも条件にしないことを確認した。その結果、第1候補としてラポルテ・ホールの予約状況を安井さんに調査していただくことを依頼(その後の経過: 9月5・12・19日は予約不可、26日(日)を仮予約)



安井さん

河村さん

②内容

子育て支援事業のプログラムを記念事業の基本線とするが、会場決定後に再検討することとし、平行して音楽の内容についても再検討する。パーカッションのパフォーマンスグループなど。

○次回幹事会

2010年4月22日(木) 19:00～ 中村邸 卓話予定 守上さん



羽賀さん

中村さん



大脇さん

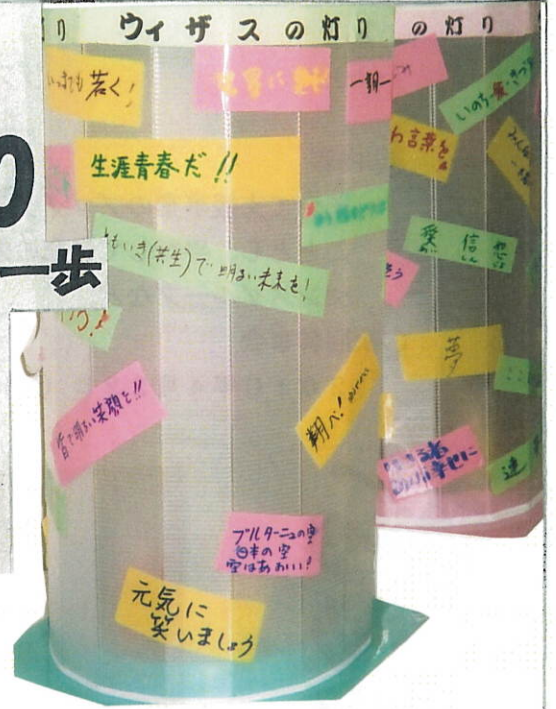
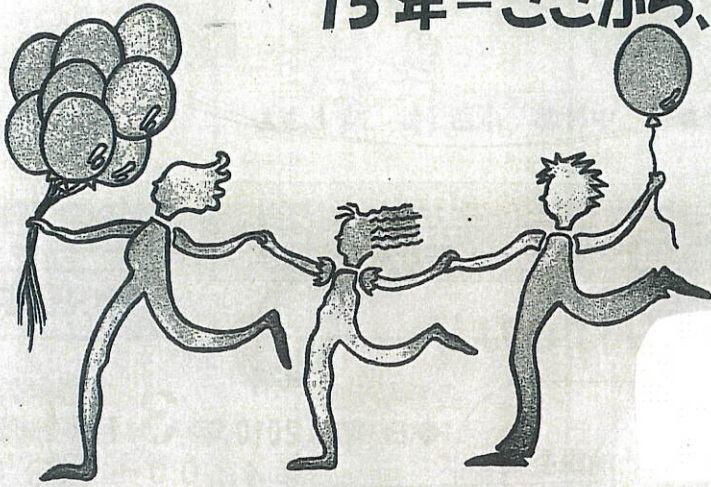
三木さん

横本さん

ウィザス

あしやフェスタ 2010

15年-ここから、また一步



2010年 3月1日(月)~12日(金)

共同制作“ウィザスの灯り”

“男女共生”“共に生きる”思いをこめたメッセージをみんなで貼りました

15周年記念講演会

演題 「もう後戻りはしない」

元朝日新聞社論説委員 川名 紀美氏

3月1日(月) 14:00~15:30、芦屋市民センター音楽室に、川名 紀美氏をお迎えして「もう後戻りはしない」という演題で講演会が開催された。

川名氏は、仕事を通しての自分の体験を飾らずに本音でお話されたので、とてもわかりやすく好評でした。

出席者は80名余りで大盛況、当会会員の出席は、安生さん、伊谷さん、河村さん、中村さん、羽賀さん、榎本さん、山本さん、守上さん、以上8名



受付



大勢の出席で大盛況の講演会

ウィザスあしやフェスタ2010・第9回公開学習会

中国少数民族に見る男女交際

＝求愛の方法から婚礼にいたるまで＝

話し手 羽賀 紘一

少数民族の青年男女が交際をはじめのきっかけや求愛、結婚相手を選ぶ方法はさまざまに興味深いものがあります。日本の若者たちとの共通点、相違点を検証し婚礼までの過程を学びます。

当会のワークショップとして3月11日(木)13:30～15:30、芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしやE会議室にて首題のテーマで公開学習会を開催した。

当日は定員を超える総勢35名の出席があり会議室は満席となる盛況であった。講演は羽賀さんのお話とスライドを放映して進められた。

内容は、1. はじめに 2. 中国の諸民族の概要 3. 少数民族とは 4. 男女交際の状態を表すサイン(スライド) 5. 男女交際のきっかけ、デート 6. 求愛のいろいろ 7. 愛を伝える贈り物について 8. 若者の現状について 9. 少数民族の結婚、婚礼について(スライド) 10. 終わりに

当会会員の出席は、安生さん、伊谷さん、上田さん、河村さん、田和さん、中村さん、羽賀さん(講師)、山本さん、榎本さん、宮本さん、守上さん、以上11名



満席の盛況でした。 講師：羽賀さん 司会：安生さん
芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしやE会議室にて

○参加者アンケート結果

講演終了後、参加者にアンケートを記入してもらいました。アンケート回収24名。

集計結果は次の通りです。

1. 性別 男性 9名 (37%) 女性15名 (63%)
2. 年齢
 - 30代 1名 (4%) 40代 1名 (4%) 50代 3名 (13%)
 - 60代 9名 (3%) 70代10名 (42%)
3. 住まいの地域
 - 芦屋市内 11名 (46%)
 - 市外(神戸市4名 宝塚市3名 西宮市3名 伊丹市1名 奈良市1名 堺市1名) 13名 (54%)
4. フェスタを知ったのは
 - 知人 16名 その他(グループの会員など) 8名
5. どなたと来られましたか
 - 友人・知人 15名 (63%)
 - その他(グループの人たち、ひとり) 9名 (37%)
6. ご意見、感想など

*おもしろいお話を有り難うございました。

*大変興味深い内容でした。文化の多様性についての大切さを再認識しました。このような機会がまたありましたらぜひ参加したいと思います。

*少数民族に大変興味がありましたので有意義な時間を過ごさせていただきました。

*とても楽しく拝聴しました。男女の結びつきのきっかけ等は、ある程度国が違っても似ている部分が多いと思いました。

現在の合コンの原点になるような民族の慣習もあったようで、時代は変化しても人間の心の中はさほど変わらないように感じます。

*興味深く聴かせてもらいました。

*大変興味深く楽しく聴かせていただきました。大変めずらしいスライドを見せていただけて楽しかったです。

*豊富な体験談とスライドによるお話、大変楽しく聴かせていただきました。有り難うございました。

*なかなか体験出来ないお話が聴けて有意義であった。

*興味深いお話を聴かせていただいた。多謝。

*楽しいお話を聴かせていただいて有り難うございました。

*大変おもしろかったです。

何度聴いてもいつもながらの興味あるお話、これからも来させていただきます。

*大変勉強になりました。

*はじめて聴く話ばかりで非常におもしろかったです。むずかしいかもしれませんが子どもの誕生などについてのエピソードなどがあれば聴いてみたい。

*豊富なフィルムを見て良く理解出来ましたが、今の時代にこんな部族の存在が不思議です。特別のハレの日の写真が多かったのですが、普通の日の生活はどうなのでしょう、と思いました。

○3月の子育て支援活動



*カルガモクラブ・・・河村さん担当

第2・第4木曜日10:00～11:30 西蔵集会所

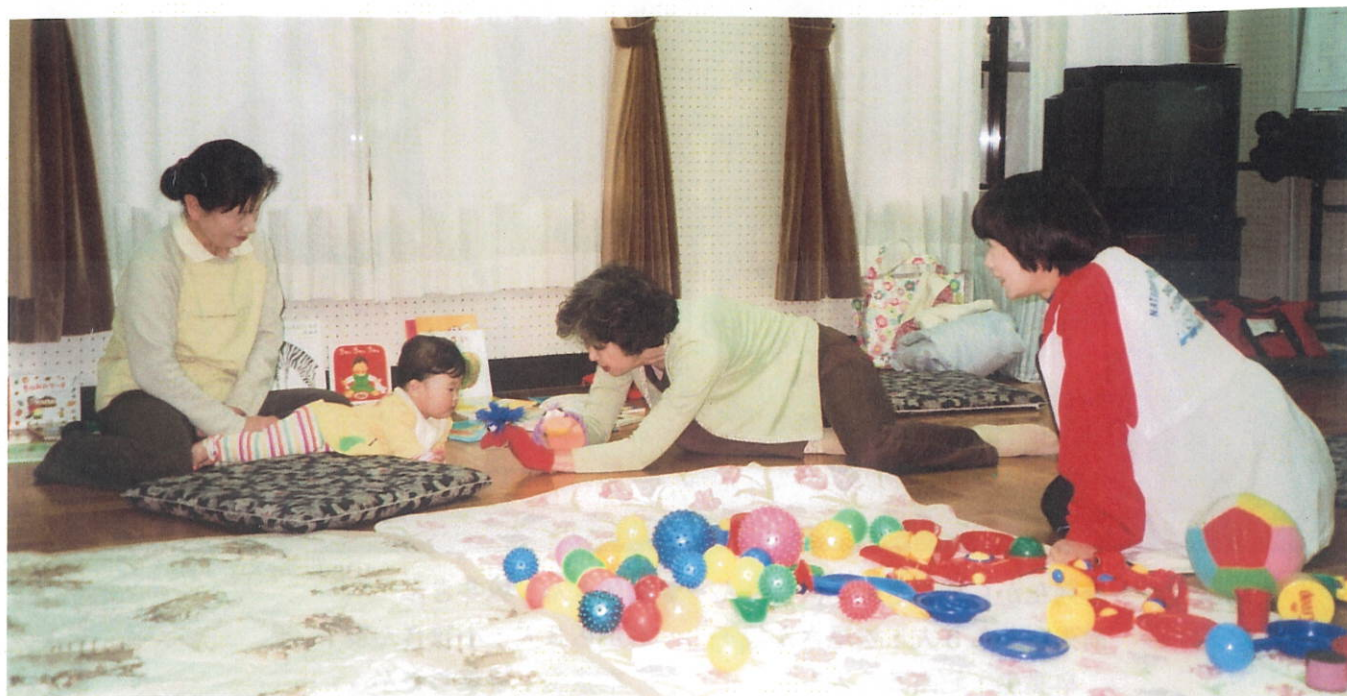
0歳～よちよち歩きまでの親子が対象です。手遊びや育児の悩みを先輩ママがサポートします。子育て仲間を作って育児を楽しみます。

3月11日(木)は、**16組の親子**が参加されました。

参加ボランティアは、辻原さん、徳田さん

3月25日(木)は、**辻原さんとお孫さん**が参加されました。

参加ボランティアは、辻原さん、徳田さん 正会員は、河村さん、羽賀さん



辻原さんとお孫さん

河村さん

徳田さん

*バンビグループ・・・河村さん担当

第2・第4火曜日10:00～11:30 打出集会所

1歳～3歳の親子が対象

今月は、芦屋体育協会より体育指導員の坂井さんに来ていただき、親子みんなで身体を動かして遊び、愉快的ひとときを過ごしました。

3月9日(火)は、**12組の親子**が参加されました。

参加ボランティアは、曾我部さん、徳田さん



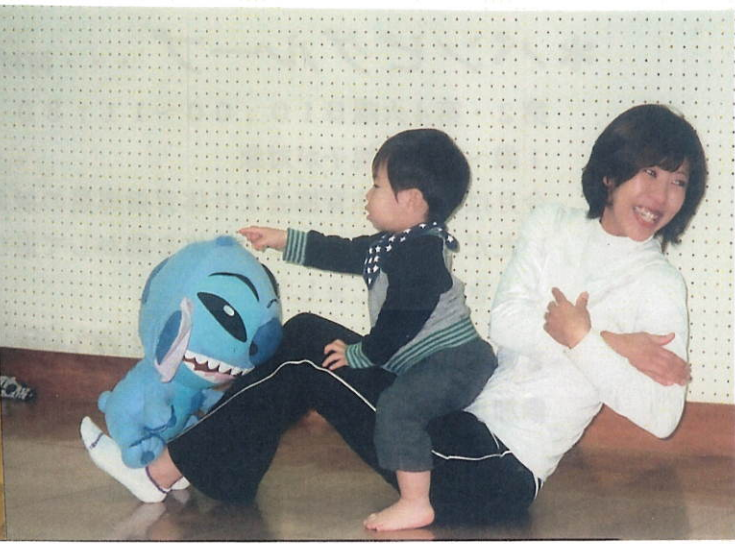
3月23日(火)は**14組の親子**が参加されました。

参加ボランティアは、曾我部さん、徳田さん、 正会員は、河村さん、羽賀さん
カルガモクラブからバンビグループへと進み、この3月卒業し、4月から幼稚園に
入園する幼児が4人誕生しました。

最後の教室となったこの日、手作りの首にかけるメダルと記念品を贈りお祝いをして
ました。



後列左から徳田さん 河村さん 曾我部さん 坂井さん
前列左から3人：松尾さん親子 右から3人：小牧さん親子
卒業生：妃奈乃ちゃん 卒業生：香菜ちゃん



坂井先生と一緒にいろんな体操をしました。



約1時間、親子共々本当に良く身体を動かしました。



=知っておきたい知識=



子ども（1～4歳）の死亡率は大変高い

2008年度の厚生労働省の報告を見ると、日本の1～4歳の子どもの死亡率は人口10万人あたり24.55で、OCED（経済協力開発機構）の27ヵ国中17位である。

日本は新生児の死亡率は世界で最も低いレベルにあるのに、死亡率の高さが際だっているといえる。

1～4歳児の死亡した場所を見ると、日本は小規模の病院で死亡する傾向があるほか、小児科医が2人以下の病院が50%というデータも出ている。重症患者が小規模病院に送られ、十分な治療を受けられずに死亡するためだという小児科医もいる。小児科の規模が小さく、専門医を備える体制になっていないことが主な要因ともいわれる。1病院あたりの小児科医師数は、1～2人が49%を占める。

現在、PICU（小児集中治療室）がある病院は全国に12カ所、小児救命救急センターは6カ所しかなく、こうした治療が受けられるのは一部の人に限定されている。

1～4歳児の死亡率国際比較（人口10万人当たり）

1. フィンランド	11.85	15. 英国	22.85
2. アイルランド	13.60	16. ニュージーランド	24.20
3. ギリシャ	14.85	17. 日本	24.55
4. ノルウェー	18.05	18. デンマーク	24.85
5. ドイツ	18.20	19. ベルギー	25.85
6. イタリア	18.25	20. オーストラリア	26.55
7. チェコ	18.60	21. ポーランド	27.35
8. スイス	18.70	22. 韓国	27.95
10. カナダ	20.85	23. ポルトガル	28.70
11. オランダ	21.15	24. 米国	29.25
12. スウェーデン	21.25	25. ハンガリー	32.00
13. スペイン	21.65	26. スロバキア	35.35
14. オーストリア	21.70	27. メキシコ	76.60



編集後記

3月は卒業のシーズンであり、4月は新入社員スタートの月である。例年、私のやっているキャリアカウンセラーの仕事は一番需要の少ない月で、ゆっくり出来る時である。ところが今年はとてつもなく忙しい。

それは3月現在でも、大学生の就職内定率はやっと8

0%で就職の決まっていない学生がたくさんいるからである。このままでは、大学4年新卒で職業がない人が10万人近くになってしまうことになる。

ただ冷静に見ると、景気悪化の中で安定を求める学生は大企業志向が強く、内定率が低いのに中小企業には人材が行き渡らないという「雇用のミスマッチ」が起きている。

就職氷河期といわれる今も「中小企業の大学生求人倍率は1を上回っている」。いまだに予定人数を確保出来ていない中小企業が60%もある。大学生はもっと中小企業に目を向けた就活をしてほしいと思う。

(羽賀)